

# 大阪労連 雇用とくらしを守ろう ニュース

NO. 3

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 全大阪労働組合総連合

TEL 06-6353-6421 2009・7・3

## 公契約懇談会、建交労が大阪市役所前で宣伝行動

地下鉄清掃労働者への生活保護決定で

7月1日、午前8時半から大阪市役所本庁前（淀屋橋）で宣伝を行いました。市営地下鉄で清掃労働に従事している労働者が、あまりにも低い賃金収入では生活ができませんと、生活保護を申請し、支給決定されたことから、大阪市に入札制度の改善を求めての行動です。

時間給760円、1日6時間30分、週6日労働では月手取り9万1千円となり、大阪市の生活保護基準を大きく下回ります。決定された生活保護費は、月2万4千円となりました。大阪市が雇う労働者に大阪市が生活保護を支給するといういびつな事態になっています。

清掃事業者を競争入札させるため、予定金額の5割程度で落札するというダンピング競争が問題です。しかし、大阪府は「最低賃金に違反していなければいい」との姿勢を崩さず、委託労働者の賃金収入は生活保護水準を下回っています。大阪労連と建交労は、時間給が1000円以上になること、最低制限価格制度の導入など人間らしく働ける

制度改善を大阪市に要求しています。



↑新聞のコピーが目されました。

\*\*\*\*\*  
事故を解決するヒーローより 働くものの生命と健康を考える

事故を起こさないヒーローが必要

## 7・1労災認定学習会



「なくせ！過労死・労災職業病」をスローガンに、化学一般関西地本、大阪労連北河内地区協などが国会会館で開催。

吹田の図書館で起きたシックハウス症候群、田辺製薬研究員の過労死、ダイトーケミックスでの職業がん労災認定のたたかいなどが報告されました。講演した池田直樹弁護士は「事故が起きてから解決するヒーローよりも、事故が起きないように見えない活動するヒーロー（組合）が必要。」と結びました。